

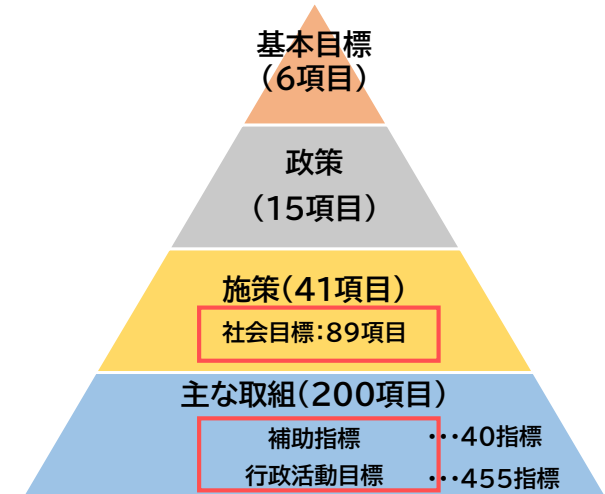
政策評価の概要

- 政策評価とは、総合計画に掲げた基本目標の実現に向けて、各施策の実施状況の把握や分析を通して課題を把握し、必要な改善を次の施策展開に反映させていく取組のことです。
- 総合計画の推進に当たっては、県民の皆様と共有・協力して実現を目指すべき具体的な数値目標として89の社会目標を掲げています。
- 評価結果については、客観性や統一性などの確保に努めるとともに、外部有識者の意見を踏まえ、とりまとめを行います。

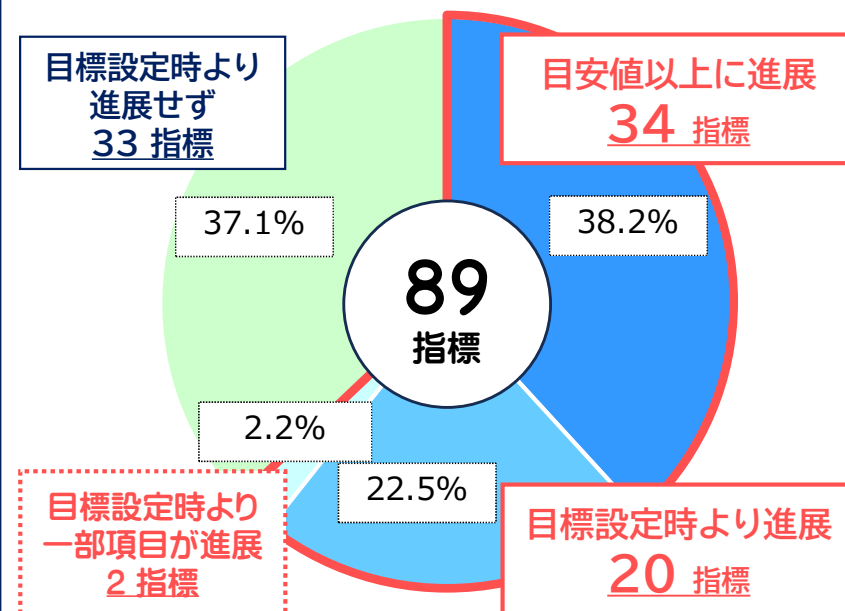
ポイント

- 現行計画初年度に当たる令和7年度において、89の社会目標のうち、56指標（62.9%）が目標設定時より進展し、このうち34指標は、県で設定した目安となる水準以上に進展しました。
- 6つの基本目標については、「Ⅴ 誰もがその人らしく生きる・分かり合える共生社会の実現」が指標の半数以上が目安となる水準以上に進展した一方、「Ⅲ 超高齢化時代に対応した医療・福祉の充実」は、指標の半数以上が目標設定時よりも進展しませんでした。
- 引き続き、各施策の成果や進捗状況等について把握・分析を行い、次の施策に対して必要な改善を実施するなど、目標達成に向けて取り組んでいきます。

総合計画の体系図



社会目標の進捗状況



※実績が未判明の24指標について、前年度の評価結果を今年度の評価として暫定的に取り扱う「みなし評価」を行っているため、実績判明後、評価が変更となる場合があります。

社会目標の進捗状況

I 危機管理体制の構築と安全の確保

行政活動目標の達成状況
達成73指標/94指標
(77.7%)

目標設定時より
進展せず
3 指標

目標設定時より
一部項目が進展
1 指標

目安値以上に進展
4 指標

目標設定時より進展
3 指標

11
指標

27%

9%

27%

36%

II 千葉経済圏の確立と社会資本の整備

行政活動目標の達成状況
達成86指標/142指標
(60.6%)

目標設定時より
進展せず
9 指標

目安値以上に進展
13 指標

目標設定時より進展
6 指標

28
指標

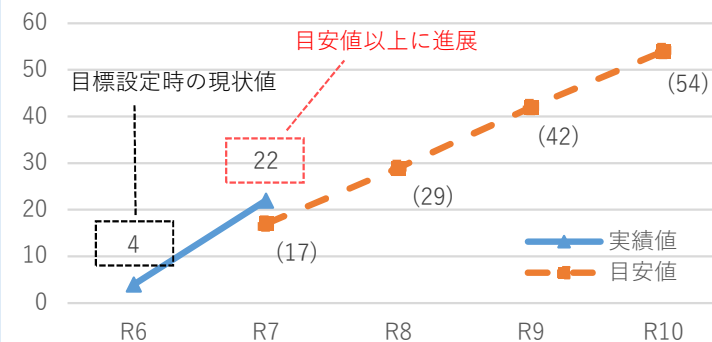
32%

21%

46%

【施策 I - 1 - ①】被災者支援システムの導入市町村数

(単位：市町村)

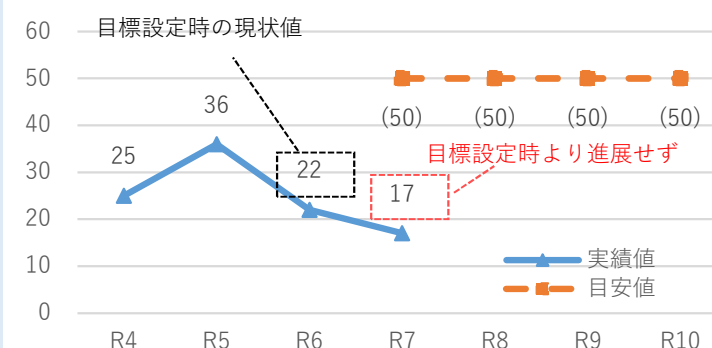


◆「被災者支援システムの導入市町村数」や「交通事故重傷者数」等は目安値以上に進展しました。

◆「被災者支援システムの導入市町村数」については、システム導入メリットなどの説明会の開催に加え、県と市町村を構成員とする千葉県被災者支援システム運用協議会の設立による情報共有や、システム導入に係る初期費用の支援等を行ったことが、進展した要因と考えられます。

【施策 II - 2 - ①】新規漁業就業者数

(単位：人)

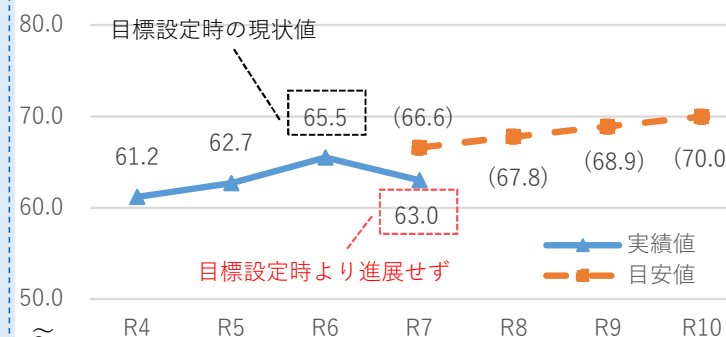


◆「成田空港の輸出入総額」等は目安値以上に進展しましたが、「新規漁業就業者数」等の9指標は目標設定時より進展しませんでした。

◆「新規漁業就業者数」については、収入面の不安等による後継者不足や、本県の漁業の魅力が潜在的な就業希望者に十分認知されていないことなどが、進展しなかった要因と考えられます。対策として、海洋人材確保・育成センターを新たに設置したところであり、同センターの知名度向上が課題となっています。

【施策 III - 1 - ①】地域の医療体制に安心を感じている県民の割合

(単位：%)



◆「積極的に健康づくりに取り組んでいると感じている県民の割合」等は目安値以上に進展しましたが、「地域の医療体制に安心を感じている県民の割合」等の5指標は目標設定時よりも進展しませんでした。

◆「地域の医療体制に安心を感じている県民の割合」について、医療機関の役割分担・連携の促進や在宅医療の充実、救急医療体制の整備などに取り組んでいますが、県民が地域の医療体制の安心を感じるまでには時間を要することや、医療資源の地域偏在等が、進展しなかった要因と考えられます。

III 超高齢化時代に対応した医療・福祉の充実

行政活動目標の達成状況
達成28指標/55指標
(50.9%)

目標設定時より
進展せず
6 指標

目安値以上に進展
3 指標

9
指標

67%

33%

社会目標の進捗状況

主な施策の進捗状況

社会目標の具体例

Ⅳ こども・若者の可能性を広げる千葉の確立

行政活動目標の達成状況
達成44指標/63指標
(69.8%)

目標設定時より
進展せず
6 指標

目安値以上に進展
5 指標

目標設定時より
一部項目が進展
1 指標

目標設定時より進展
4 指標

16
指標

38%

31%

6%

25%

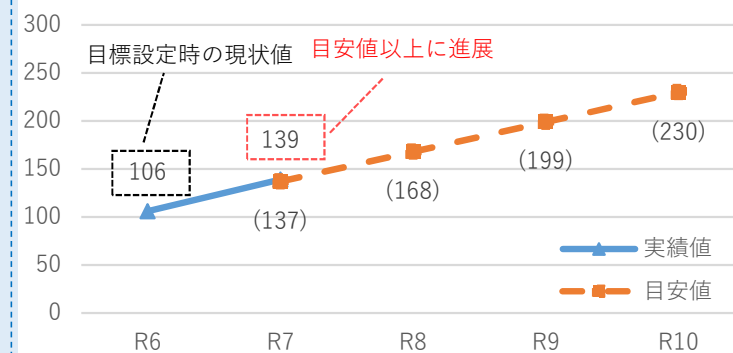
◆「ちば・うみやま保育認証団体※数」や「こども家庭センターの設置市町村数」等は目安値以上に進展しました。

◆「ちば・うみやま保育認証団体数」については、ポスター等により自然環境保育の魅力や伝えたほか、新たに実施しようとする団体（認可保育園、幼稚園）等への自然環境保育普及推進員の派遣や活動費の支援などを行ったことが、進展した要因と考えられます。

※自然体験活動を通じてこどもの主体性や創造性等を育む「自然環境保育」に取り組む幼稚園・保育園等

【施策Ⅳ-1-①】 ちば・うみやま保育認証団体数

(単位：団体)



Ⅴ 誰もがその人らしく生きる・分かり合える共生社会の実現

行政活動目標の達成状況
達成20指標/26指標
(76.9%)

目標設定時より
進展せず
2 指標

目安値以上に進展
4 指標

目標設定時より進展
1 指標

7
指標

29%

57%

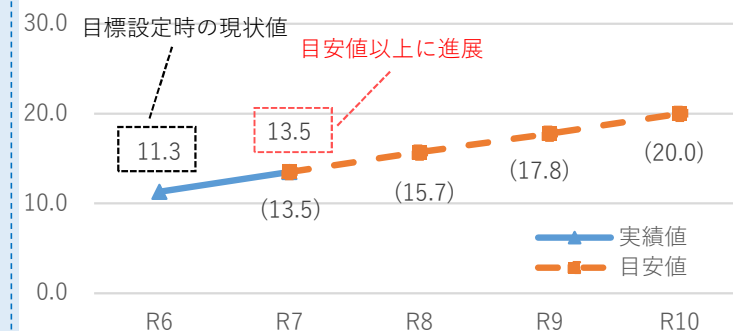
14%

◆「社会全体で男女の地位が平等となっていると思う人の割合」や「『ちばSDGsパートナー登録制度』の登録数」等は目安値以上に進展しました。

◆「社会全体で男女の地位が平等となっていると思う人の割合」については、ワーク・ライフ・バランスの普及促進や子育て・介護への支援等に取り組んできたことが、女性の就業率や男性の育児休業取得率の増加につながり、進展したものと考えられます。

【施策Ⅴ-1-②】 社会全体で男女の地位が平等となっていると思う人の割合

(単位：%)



Ⅵ 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造

行政活動目標の達成状況
達成61指標/90指標
(67.8%)

目標設定時より
進展せず
7 指標

目安値以上に進展
5 指標

目標設定時より進展
6 指標

18
指標

39%

28%

33%

◆「メディアに取上げられた件数」等は目安値以上に進展しましたが、「この1年間に鑑賞を除く文化芸術活動をした県民の割合（オンラインでの活動を含む）」等の7指標は目標設定時よりも進展しませんでした。

◆「この1年間に鑑賞を除く文化芸術活動をした県民の割合（オンラインでの活動を含む）」について、文化芸術活動をしなかった理由として、活動に関する情報の不足や開催日時に都合が合わないこと、近隣に活動場所がないなど環境的側面による影響が大きいと考えられます。

【施策Ⅵ-4-①】 この1年間に鑑賞を除く文化芸術活動をした県民の割合（オンラインでの活動を含む）

(単位：%)

